

1. 基本事項

Table with columns for 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, 事業期間, etc.

2. 事務事業の概要

Table with columns for 目的, 対象, 実施形態, 事業内容, etc.

3. 実施状況

Table with columns for 対象指標, 活動指標, 成果指標, 年度 (H26-H31), H32計画, H32実績, H32達成率, etc.

Table for 補足説明 (Additional Information) with columns for 目的, 対象, 内容, and a grid for years H26-H31.

成果(どのような状態になったか) 妊娠期・乳幼児の健診により疾病の早期発見、健康の保持増進を図ることができた。乳幼児相談では専門職による相談とともに、母親同士の交流も行える場となり、育児不安の軽減につながっている。

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with columns for 年度 (H26-H31), 事業費, 内訳, 事業費の算出根拠(H28), etc.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

1. 基本事項

事務事業名	特定不妊治療費助成事業			事務事業コード	213-102-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	1	子育て環境を充実し、子どもの健やかな成長を支援する	担当者	阿部 牧子
	施策名	3	子どもの発育支援	内線	513
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	4款1項1目	母子保健事業費	予算コード	01-040101-0301
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 25 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	不妊治療に係る費用を軽減させ、より治療しやすい環境をつくることによって、少子化対策に寄与する。	事業内容	特定不妊治療に係る治療費の一部を助成する。		
対象	法律上の婚姻関係にある夫婦で、特定不妊治療以外の治療法によっては、妊娠の見込みがないか又は極めて少ないと医師が判断され、指定医療機関において特定不妊治療を実施した夫婦。				
目指す状態	経費の助成をすることで、不妊に悩む夫婦が特定不妊治療を受けやすくなる状態。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	20歳から43歳までの男女	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	9,131	8,956	8,855				
	説明(算式等)		達成率							
活動指標	指標名称	申請受理件数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	18	21	19				
	説明(算式等)		達成率							
成果指標	指標名称	助成延べ件数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	18	21	19				
	説明(算式等)		達成率							
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	・助成金の交付は、1回の治療につき10万円を限度とする。 ・特定不妊治療費には、男性不妊治療費も含む。									
成果(どのような状態になったか)	治療費の一部を助成することで、経済的負担を軽減し、不妊に悩む夫婦が治療しやすい状況となった。助成した延べ19件のうち、4件の妊娠につながった。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 ... ①		1,613	1,773	2,500			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	0	1,613	1,773	2,500	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 ... ②	3,904	3,904	3,904	1,548	0	0	交付金(款項目:4.1.1)	1,773
内訳	正規職員(人)	0.50	0.50	0.50	0.20			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	3,904	5,517	5,677	4,048	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	助成した延べ19件(実11組)のうち4件が妊娠に結び付いている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	同上
有効性	③成果の向上余地がないか	<input checked="" type="radio"/> 向上の余地がない <input type="radio"/> 向上の余地がある	
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	助成後の自己負担が45万円を超える場合もあり、助成額の削減は成果の縮小につながる。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	
	⑥他自治体と連携できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	市民に対する助成のため、できない。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	公費としての助成であり、できない。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	少子化対策として、実績あり。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
助成制度の活用により自己負担の軽減が図られ、治療を受けやすい状況に結び付いているが、治療内容により自己負担額が45万円を超える高額な場合もあり、経済的な負担が課題である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

不妊治療助成に関する情報や県内市町損の動向をふまえ、今後も助成上限金額の増額を含め検討していく。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
県内市町村の動向を注視し、助成金の上限金額の増額を検討する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	特定不妊治療の助成を行なうことで少子化対策にもつながっており、今後も継続する必要がある。	所属長評価	少子化解消に貢献している事業であり、助成額増額し拡充していくべきである。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	最上地域保健医療対策協議会運営事業			事務事業コード	221-101-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	野崎由紀子
	施策名	1	医療体制の充実	内線	514
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	最上地域保健医療対策協議会規約				
予算・事務事業名	一般会計	4款1項1目	職員給与費	予算コード	01-040101-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 52 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	地域の保健医療を確保し、その向上を図るため総合的かつ効果的な対策を推進する。	事業内容	圏域の行政、医師会、病院等医療機関、保健医療関係団体が地域医療の充実を図るための諸事業の企画、運営を行う。		
対象	最上地域の住民、若しくは出身者等				
目指す状態	地域住民が保健、医療面で安心して暮らせる体制づくりを目指す。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	最上地域の住民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
	説明(算式等)		実績	79,176	77,795	77,090				70,000
			達成率							
活動指標	指標名称	委員会、幹事会、事務局会議開催数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
	説明(算式等)		実績	5	5	5				5
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%				
成果指標	指標名称	年間事業開催数(回)(委員会、幹事会を除く事業数)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
	説明(算式等)		実績	15	10	15				15
			達成率	100.0%	66.7%	100.0%				

補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	平成28年度の主な事業内容 ・医療従事者確保対策事業 医学生研修、看護学生研修(1回)、中高生向け動機付け学習会(10回)、ホームページ・情報誌の作成等 ・保健医療対策事業 小児初期救急研修会(1回)、時間外救急医療体制検討会(1回)、医療従事者への感謝状贈呈等 ・救急医療対策事業 中学生対象応急手当講習会(1回)、メディカルコントロール専門部会(1回)、各種救急講習会(住民対象81回)									

成果(どのような状態になったか)	医療従事者確保対策の看護学生研修では4名の参加があり、参加学生は最上地域医療機関での勤務を希望している者もあり、一定の成果がみられている。医学生研修では、参加者がなく中止となったため、対象や日程、周知の拡大を図り、次年度の対策を行う。
------------------	---

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 ... ①	608	608	608	608			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
	一般財源	608	608	608	608	0	0	主な歳出の内訳
人件費 ... ②	5,466	5,466	5,419	4,258	0	0	負担金	608
内訳	正規職員(人)	0.70	0.70	0.70	0.55		人口割(50%)	303,750円
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		財政割(50%)	303,750円
費用合計(①+②)	6,074	6,074	6,027	4,866	0	0	合計	607,500円
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	地域医療の充実を図るための施策に結びついている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	二次医療圏である最上地域8市町村の広域的な取り組みが必要である。
有効性	③成果の向上余地がないか	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	圏域での継続的な取り組みと事業実施のPR等の推進が必要である。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	最上8市町村からの負担金で運営されており、事業展開の面からも削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	事務局として協議会の運営を行っていることから、変更は難しい。
	⑥他自治体と連携できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	最上8市町村での連携を実施している。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	協議会委員として民間医療機関が参画している。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	医師等医療従事者の不足は、喫緊の課題であり、医療圏域の連携した対応が望まれている。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
看護学生研修では地元への就職の動機づけとなっているが、医学生研修では参加希望者がなく中止となったため、今後開催方法等改善が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

医学生研修として、夏期7月と春期3月の開催を調整している。

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
医療従事者の確保、特に医学生研修については、対象や日程の拡大を行い、事業実施に結びつける。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	関係機関と連携した事業継続の取りみくが、医療体制確保につながっている。	所属長評価	医学生研修確保に向け、新たな対策を講じ関係機関と連携しながら事業を実施していく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	国民健康保険給付事業			事務事業コード	221-201-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	國分亮一
	施策名	1	医療体制の充実	内線	511
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	国民健康保険法第3条				
条例・要綱等					
予算・事務事業名	国民健康保険事業特別会計	2款1項1目	一般被保険者療養給付費	予算コード	02-020101-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返し(継続) 開始年度 昭和 34 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	被保険者の疾病、負傷、出産、死亡に関する保険給付を行う。	事業内容	保険者(市)は、被保険者が医療機関で窓口負担(通常3割)した残りの医療費を、徴収した国保税で医療機関へ支払う。		
対象	被保険者が要した医療費等				
目指す状態	必要な保険給付が正確かつ迅速に行われている。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	被保険者数(一般+退職)(人)	年度							H32見込
			H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	実績		9,931	9,422	8,677					
	達成率									
活動指標	指標名称	保険給付額(千円)	年度							H32計画
			H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	実績		2,577,201	2,436,904	2,390,782					
	達成率									
成果指標	指標名称	—	年度							H32目標
			H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	実績									
	達成率									
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
成果(どのような状態になったか)	被保険者に対する必要な保険給付が適正に行われた。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費 ... ①	4,058,646	4,465,554	4,867,672	4,540,306			歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金	1,028,000	924,866	959,565	882,707		その他特財=療養給付費交付金・前期高		
	県支出金	229,487	321,232	326,764	185,943		年齢交付金・共同事業交付金・貸付金収入外	2,412,697	
	受益者負担	5,334	5,517	2,890	2,932		一般会計繰入金	304,133	
	その他特財	1,644,934	2,171,214	2,579,828	2,504,599		主な歳出の内訳		
	一般財源	1,150,891	1,042,725	998,625	964,125	0	0	保険給付費	2,390,782
人件費 ... ②	30,842	30,061	29,803	30,267	0	0	後期高齢者支援金等	481,036	
内訳	正規職員(人)	3.95	3.85	3.85	3.91		介護納付金	215,794	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		共同事業拠出金	1,152,671	
費用合計(①+②)	4,089,488	4,495,615	4,897,475	4,570,573	0	0			
臨時嘱託等(人)	0.77	0.77	0.77	0.77					
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

1. 基本事項

事務事業名	レセプト点検事業			事務事業コード	221-202-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	國分亮一
	施策名	1	医療体制の充実	内線	511
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	国民健康保険法第45条第4項				
条例・要綱等					
予算・事務事業名	国民健康保険事業特別会計	1款1項1目	一般管理事業費	予算コード	02-010101-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返し(継続) 開始年度 昭和 33 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	医療費の適正支出を目的とする。	事業内容	県国民健康保険団体連合会から毎月送付されてくるレセプトを、1枚ずつ見て点検する。		
対象	診療報酬明細書(レセプト)				
目指す状態	レセプトを点検することにより、診療報酬点数や国保資格、給付制限(第三者行為等)、重複受診、重複請求等の誤りを見つけ、医療費の適正化を図る。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	送付レセプト数(枚)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込																																	
	説明(算式等)		実績	159,848	154,261	147,128																																					
活動指標	指標名称	レセプト点検枚数(枚)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画																																	
	説明(算式等)		実績	159,848	154,261	147,128																																					
成果指標	指標名称	—	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標																																	
	説明(算式等)		実績																																								
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																										
	<table border="1"> <tr> <td colspan="11">○レセプト点検事業により過誤調整した金額</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td colspan="2">(単位:円)</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>6,636,371</td> <td>7,438,060</td> <td>4,365,187</td> <td>5,053,355</td> <td>11,444,986</td> <td>2,322,699</td> <td>4,488,877</td> <td>2,276,200</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>											○レセプト点検事業により過誤調整した金額											年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	(単位:円)		金額	6,636,371	7,438,060	4,365,187	5,053,355	11,444,986	2,322,699	4,488,877	2,276,200	
○レセプト点検事業により過誤調整した金額																																											
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	(単位:円)																																		
金額	6,636,371	7,438,060	4,365,187	5,053,355	11,444,986	2,322,699	4,488,877	2,276,200																																			
成果(どのような状態になったか)	誤った請求を正すことにより、本市の負担軽減につながる。																																										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)			
事業費 … ①	3,367	3,367	3,367	3,444			歳入の積算内訳			
内訳	国庫支出金						その他特財＝一般会計事務費繰入金			
	県支出金						(レセプト専門員報酬)			
	受益者負担						3,444			
	その他特財	3,367	3,367	3,367	3,444					
一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳			
人件費 … ②	2,811	2,811	2,787	2,787	0	0	レセプト専門員報酬			
内訳	正規職員(人)	0.36	0.36	0.36	0.36					
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741					
費用合計(①+②)	6,178	6,178	6,154	6,231	0	0				
臨時嘱託等(人)	2.00	2.00	2.00	2.00						
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)										

1. 基本事項

事務事業名	老人医療給付事業			事務事業コード	221-203-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	國分亮一
	施策名	1	医療体制の充実	内線	511
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	老人保健法第4条				
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	3款1項7目	老人保健医療事業費	予算コード	01-030107-01
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 58 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	平成19年度で終了した老人保健医療制度の未処理事務を適正に執行する。	事業内容	平成20年3月分及び過誤等による月遅れの診療報酬請求の支払い。過誤等の調整の精算は、平成29年度まで継続する。		
対象	老人保健制度における未処理事務対象者。				
目指す状態	老人保健受給者に対し、適正な健康保険の給付を行う。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	未処理事務対象者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	-	-	-	-	-	-	-
活動指標	指標名称	給付件数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成果指標	指標名称	-	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	・本事業は平成19年度で終了した老人保健医療制度の未処理事務(診療報酬請求の支払いや過誤等の調整の精算、その事務費等)が発生した場合のみを実施する事業であり、平成28年度においては該当はなかった。									
成果(どのような状態になったか)	過誤等の調整の該当なし									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 ... ①	0	0	0	0			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金						老人保健医療費拠出金	0
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財	0	0	0	0			
	一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳
人件費 ... ②	234	234	232	232	0	0	老人保健交付金返還金 ほか	0
内訳	0.03	0.03	0.03	0.03				
1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741				
費用合計(①+②)	234	234	232	232	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

1. 基本事項

事務事業名	後期高齢者医療広域連合事業			事務事業コード	221-204-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	國分 亮一
	施策名	1	医療体制の充実	内線	511
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	高齢者の医療の確保に関する法律				
条例・要綱等					
予算・事務事業名	後期高齢者医療事業特別会計	3款1項1目	後期高齢者医療広域連合納付金	予算コード	09-030101-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 20 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	被保険者が安心して医療を受けられるよう、新しい医療制度である後期高齢者医療事業を適正に運営し、医療給付を行なう。	事業内容	高齢社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現を図るため、県内全市町村が加入する「山形県後期高齢者医療広域連合」が、財政運営を行い、市町村は保険料徴収、窓口事務、保険証の交付事務等を実施する。		
対象	75歳以上全員と65歳以上で一定の要件に該当する者。				
目指す状態	老人保健制度からの独立医療制度として、「山形県後期高齢者医療広域連合」が運営主体となり、高齢者に対して医療の給付を行う。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	75歳以上全員と65歳以上で一定の要件に該当する者	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	5,890	5,970	6,005					
活動指標	指標名称	医療証交付枚数(枚)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
実績	5,890	5,970	6,005								
成果指標	指標名称	—	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
実績											
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
成果(どのような状態になったか)	被保険者である高齢者等が安心して医療を受けられるよう、市は県後期高齢者医療広域連合への財政的な負担と、窓口業務、保険証の交付事務等を行い、必要な医療給付が適正に行われた。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 ... ①	375,983	377,799	382,122	398,019			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金						後期高齢者医療保険料	264,923
	県支出金						健康診査委託料	7,450
	受益者負担	258,615	249,424	264,923	259,824		事務費繰入金	20,235
	その他特財	8,502	6,715	7,450	8,367		保険基盤安定繰入金	95,408
	一般財源	108,866	121,660	109,749	129,828	0	0	主な歳出の内訳
人件費 ... ②	11,712	11,712	12,386	11,999	0	0	後期高齢者医療後期連合納付金	381,000
内訳	1.50	1.50	1.60	1.55			健康診査事業費	7,716
1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741				
費用合計(①+②)	387,695	389,511	394,508	410,018	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

1. 基本事項

事務事業名	夜間休日診療所運営事業			事務事業コード	221-301-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	八鍬 貴征
	施策名	1	医療体制の充実	内線	516
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市夜間休日診療所設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	4款1項5目	夜間休日診療所管理運営事業費	予算コード	01-040105-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 18 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	新庄・最上地域の夜間・休日診療について、定点による診療所を設置し、時間外診療体制の充実を図る。	事業内容	市で運営する診療所で、医師会から派遣された医師による診療を実施。		
対象	初期救急患者				
目指す状態	一般の医療機関が閉まっている時間帯の診療対応。県立新庄病院への患者集中の緩和。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	最上地域の住民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
	実績			79,176	77,795	77,909				70,000	
	達成率										
活動指標	指標名称	診療日数(日)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
	実績			365	366	365				365	
	達成率			100.0%	100.0%	100.0%					
成果指標	指標名称	年間延受診者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
	実績			4,475	4,441	4,194				-	
	達成率										
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	患者数内訳										
		平日夜間	1,830人								
		休日日中	2,364人								
市町村別受診者数											
	H28	新庄市	金山町	最上町	舟形町	真室川町	大蔵村	鮭川村	戸沢村	その他	合計
		2,442	146	129	287	284	183	236	230	258	4,194
		58.2%				35.6%				6.2%	100%
成果(どのような状態になったか)	市民はじめ、新庄市外からの患者も多く、最上地域全体の時間外診療所として定着してきており、一次救急医療機関の機能を果たしている。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 ... ①	32,871	32,401	31,579	33,582			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金						診療報酬収入	29,284
	県支出金						診断書交付手数料 @1,580円*28件	45
	受益者負担	33,501	30,132	29,329	30,803			
	その他特財							
一般財源	-630	2,269	2,250	2,779	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 ... ②	5,466	5,466	4,645	4,645	0	0	嘱託看護師報酬 正看@240,000円*12.8月 他	6,435
内訳	正規職員(人)	0.70	0.70	0.60	0.60		臨時看護師賃金	810
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		医薬材料費	3,578
費用合計(①+②)	38,337	37,867	36,224	38,227	0	0	医療業務委託料	14,409
臨時嘱託等(人)	1.80	1.80	1.80	1.80			医療事務委託料 @449,000円*12月*1.08	5,820
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							感染性廃棄物収集運搬業務委託料	46
							調剤業務委託料	455

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	夜間・休日と病院が閉まっている時間帯に診療所を開くことで、医療体制を充実させている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	対象は初期救急患者である。 重症患者を診療できる県立新庄病院との機能分担を図っている。
有効性	③成果の向上余地がないか	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	一次診療体制を担っており、二次診療機関である県立新庄病院の負担軽減の役割を担っている。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	人件費と医薬材料費等の事業費であり、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	診療に見合った体制であり、人員削減は難しい。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	他市町村の診療所より医師派遣の協力を受けている。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	地元医師会、薬剤師会からの協力を得ており官民協働となっている。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	県立新庄病院の混雑の回避に寄与している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
地域の医師が高齢化等により減少しており、今後の当番医の確保が課題である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

医師会と協議しており、医師の確保等について、最上地域保健医療協議会の事業と連携し、実施している。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
報酬や勤務体制等について、医師会と協議していく。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	市民及び最上郡内の利用が定着している。診療所運営を継続するために当番医の確保に力を入れていく必要がある。	所属長評価	地域医療充実のため必要不可欠な存在であり、関係機関と連携しながら、現行の運営体制を堅持していく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, 事業期間, etc.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 実施形態, 事業内容

3. 実施状況

Table with 12 columns: 対象指標, 指標名称, 年度 (H26-H31), H32見込, 活動指標, 成果指標, 補足説明, 成果(どのような状態になったか)

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns: 年度 (H26-H31), 事業費, 内訳, 事業費増減の理由

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	冬季の緊急搬送の体制確保により、安心・安全な医療体制を市民に提供できている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	緊急搬送の体制確保として、適切である。
有効性	③成果の向上余地がないか	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	県立新庄病院に近い離発着場の確保について、関係機関が協議を行っている。
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	降雪状況に合わせた出勤を要請しており、削減は難しい。
効率性	⑤人員や実施形態は適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	降雪状況に合わせた出勤を要請しており、削減は難しい。
	⑥他自治体と連携できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	新庄市保有施設の利用であり、連携は考えにくい。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	緊急搬送という点から、協働は考えにくい。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	冬季の救急医療体制を確保することは、地域の実情に合った事業である。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
関係機関と連携し、冬季の救急医療体制確保の継続が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

山形県ドクターヘリ症例検討会に参加し、また最上広域消防本部に運行状況を確認し、離発着場の確保継続に努めている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
関係機関である山形県、最上広域消防本部より、ドクターヘリの運行状況等を確認し、離発着場の確保継続に努める。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	今後も、冬季の緊急医療体制確保として、ドクターヘリの離発着場の確保を継続する必要がある。	所属長評価	冬季の救急医療体制確保のため、今後も事業継続していく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for project name (献血推進事業), code (221-303-35), objectives (みんな健康で、笑顔あふれるまち), and implementation details (事業区分, 法令根拠, 予算, 事業期間).

2. 事務事業の概要

Table with columns for purpose (安全な血液製剤の安定供給の確保を図る), target (16歳~69歳), status (医療機関への供給数), and implementation status (市直営, 補助・負担, etc.).

3. 実施状況

Table showing performance indicators (対象指標, 活動指標, 成果指標) with columns for years (H26-H31) and actual results. Includes a section for supplementary explanation (補足説明) and a final status (成果) row.

4. 投入資源

Table showing financial resources (事業費) and personnel resources (人件費) with columns for years (H26-H31) and detailed breakdowns.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, 事業期間, etc.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 実施形態, 事業内容

3. 実施状況

Table with 10 columns: 対象指標, 指標名称, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, H31, H32見込

Table with 8 columns: 年度, 対象者, 利用者, 利用率, 対象者, 利用者, 利用率, 法定報告

成果(どのような状態になったか) 特定健診受診率向上対策として電話による個別受診勧奨を実施したことで特定健診の受診率が向上した。また特定保健指導の初回面談を健診当日に実施することで利用率は維持されており、生活習慣改善の機会が確保されている。

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, H31, 事業費の算出根拠(H28)

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, etc. Content includes 'がん検診推進事業', '222-103-35', '健康課', '笹 美香', '516', '評価区分', '評価事業', '新庄市がん検診推進事業実施要綱', '01-040101-1000', '平成 年度', '23 年度 ~ 32 年度'.

2. 事務事業の概要

Table with 2 columns: 目的, 対象, 目指す状態, 事業内容, 実施形態. Content includes '子宮頸がん、乳がん検診受診促進及び、早期発見と正しい健康意識の普及啓発', '21歳、41歳の女性', '市民の健康の保持及び増進を図る。', '子宮頸がん、乳がんに関する検診手帳及び検診費用が無料となるがん検診無料クーポン券を送付し、がん検診の受診率の促進を図る。', '市直営', '全部委託', '一部委託', '補助・負担', '市民協働', '指定管理', '事務局', 'その他'.

3. 実施状況

Table with 10 columns: 対象指標, 指標名称, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, H31, H32見込. Content includes '子宮頸がん及び乳がん検診無料クーポン配布数', '未受診者への受診勧奨数(人)', '子宮頸がん・乳がん検診受診率(%)'.

Table with 2 columns: 補足説明, 子宮頸がん・乳がん検診受診状況, 未受診者への受診勧奨状況. Includes sub-tables for 'H27', 'H28' and '対象', '内容'.

※対象者は当該年度の4月20日現在の人数
成果(どのような状態になったか) 無料クーポン券の配布及び未受診者への受診勧奨により、子宮頸がん、乳がん検診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及ができた。

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 8 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, H31, 事業費の算出根拠(H28). Content includes '事業費', '国庫支出金', '県支出金', '受益者負担', 'その他特財', '一般財源', '人件費', '正規職員(人)', '1人当たり単価', '費用合計(①+②)', '臨時嘱託等(人)', '事業費増減の理由'.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	疾病の早期発見、医療費の抑制に結び付いているため
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	21歳は子宮頸がん検診、41歳は乳がん検診の無料クーポン対象者であり、受診の動機づけにつながっている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	受診率が低いため、未受診者に個別に受診勧奨する等、検診の必要性を個別に説明し受診につなげる。
効率性	④成果を下げずに事業 費を削減できないか	○ 削減の余地がない ● 削減の余地がある	クーポン券作成の工夫により需用費を削減する。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	特定健診や他のがん検診等の受診率向上対策の取り組みにおいても無料クーポンによる受診の普及を図る。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	市民に対する助成である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	健診機関等と協力している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	がん検診の受診率が向上し疾病を早期に発見することにより市民の健康の保持増進を図ることができる。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
子宮頸がん検診の対象者は21歳と若く、がん検診に対する意識が低いため受診行動につながりにくい。乳がん検診受診率は向上しており、特定健診の個別の受診勧奨による未受診者対策の成果が出ていると考えられる。さらに健康づくり事業等において、がん検診の受診促進や普及啓発に取り組み健康意識の向上を図る必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

未受診者へ電話での受診勧奨を実施する。 成人式の案内時にあわせて子宮頸がん検診受診の普及啓発を実施する。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
無料クーポンは生涯にわたって検診受診するという、継続した健康行動をとるための一助となるものである。若年者に対する普及、啓発の取り組みを増やし健康意識の向上を図る。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	がんの早期発見・早期治療につながるよう、未受診者対策を行い受診率の向上を図る必要がある。	所属長評価	乳がん検診受診率は微増したが、目標とは乖離しており、受診率向上のため、あらゆる機会を捉えて対象者の意識啓発、受診促進に努めていく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	1561.6	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	健康づくり推進の活動拠点として機能している。
	②対象や目指す状態が適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	対象に合わせた保健事業を実施している。
有効性	③成果の向上余地がないか	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	各種保健事業実施の定着が図られている。定期健康相談は、健診の事後指導をきっかけとして、継続した利用促進を図っていく。
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	施設維持に要する経費が主であり、削減は困難。
効率性	⑤人員や実施形態は適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	施設常駐の形態はとっておらず、清掃委託など最小限で維持している。
	⑥他自治体と連携できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	各自治体に設置されている。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	市民の健康づくり事業の開催施設であり、直営の夜間休日診療所を併設するため、現在の利用形態が最良。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	夜間休日診療所を併設するなど、地域の課題に対応している。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
乳幼児健診や成人の健康診査等の実施施設として有効に活用されている。乳幼児や高齢者の利用割合が高いことから、より安全性に配慮しつつ、保健施設としての役割を維持する必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

日頃から安全に配慮し、不具合等には迅速に対処している。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
今後も安全に配慮し、活用に努める。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	保健事業推進のための施設利用と施設安全管理を継続実施する。	所属長評価	夜間休日診療所としても活用しており、安全で利用しやすい施設の管理運営を維持していく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	食育・食生活改善事業			事務事業コード	222-201-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	鈴木理津子
	施策名	2	健康づくりの推進	内線	516
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	国民健康保険事業特別会計	8款2項1目	健康づくり推進事業費	予算コード	02-080201-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	生活習慣病予防のため、調和のとれた食習慣の普及に努め、幅広い世代の健康づくりを推進する。	事業内容 ・新庄市食育・地産地消推進計画に基づき、ライフステージに応じた食育及び地産地消の推進をはかる。 ・新庄市食生活改善推進協議会に委託し、家庭訪問での塩分測定による減塩の普及啓発や各種栄養料理教室、保育所・幼稚園・放課後児童クラブへの食育訪問活動、農林課と共同で、小学生を対象とした収穫体験・料理教室を実施する。
対象	市民	
目指す状態	新庄市食生活改善推進協議会と連携協力し、食に関する正しい知識を普及し食文化の継承を図りながら食育及び健康づくりを推進する。	
実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	全市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
	実績			37,790	37,407	36,833				35,000	
説明(算式等)	統計でみる新庄市		達成率								
活動指標	指標名称	開催事業数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
	実績			57	55	47				60	
説明(算式等)			達成率	95.0%	91.7%	78.3%					
成果指標	指標名称	事業参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
	実績			2,702	2,123	2,022				2,000	
説明(算式等)			達成率	135.1%	106.2%	101.1%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明) ※団体と協力した事業継続を目標とする。										
	* 新庄市食生活改善推進協議会(H28)										
				事業名	回	人	事業名	回	人		
	事業名	事業数	参加人数	食育(新南高)	2	90	地域普及活動	5	115		
	男性料理	3	33	食育訪問活動	1	93	花と緑のまちづくり	5	14		
	郷土料理	4	125	研修会・会議等	16	228					
	生活習慣病予防	3	58	県からの受託事業	3	58					
こども料理	2	45	健康福祉まつり	1	480						
家庭訪問味噌汁塩分測定	1(11月~2月)	493	市民プラザまつり	1	190						
成果(どのような状態になったか)	各種料理教室の実施や家庭訪問を実施しての味噌汁塩分測定は地域や家庭における減塩を推進し、健康づくりの意識向上に繋がった。小学生を対象にした収穫体験などの教室では食育・地産地消に関する関心を高めた。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)
事業費 ... ①	200	200	200	200			歳入の積算内訳
内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	受益者負担						
	その他特財						
一般財源	200	200	200	200	0	0	主な歳出の内訳
人件費 ... ②	3,123	3,123	4,645	2,013	0	0	新庄市食生活改善推進協議会委託料
内訳	0.40	0.40	0.60	0.26			200
1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	3,323	3,323	4,845	2,213	0	0	
臨時嘱託等(人)							
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	市民の健康づくりに、健康でいきいきと暮らせる地域づくりに貢献している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	ライフステージに応じた食育を実施することで、生活習慣病の予防に繋がる。
有効性	③成果の向上余地がないか	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	より多くの場で食育推進を働きかけることにより、健康で長生きできる市民の増加に繋がる。
効率性	④成果を下げずに事業 費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	事業費は、食生活改善推進連絡協議会への委託料であり、すべて普及事業に使われているため、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	生活習慣病予防の活動だけでなく、食育の推進にも力をいれており、事業が多い。
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	食生活改善に関する情報交換や、研修会などの連携を検討する余地はある。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	すでに食生活改善推進協議会と協力して実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	ライフステージに応じた食育の推進や減塩による生活習慣病予防などを重点的に実施している。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
食生活改善推進協議会と協力し、様々な教室や訪問活動を実施し、「食育」や「減塩と生活習慣予防」を推進することは市民の健康に重要である。家庭訪問による減塩推進を継続し、さらに地域普及活動につなげていくことで健康づくりを推進する必要がある。また、ライフステージに応じた食育の普及啓発を継続していく。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

地区における、家庭訪問による味噌汁減塩測定を継続し、地域での食生活改善の普及活動を強化する。農林課との共同で小学生を対象とした食育推進事業を継続し実施する。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
様々な教室・イベントを通して、世代に応じた「食育」や「減塩と生活習慣予防」に関する情報を提供し、健康づくりの普及に努める。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	団体との協働を含め、今後も各分野に対する継続した普及啓蒙の取り組みが必要である。	所属長評価	関係機関と連携し事業を実施しており、今後も市民への普及啓蒙の拡大に努めていく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	健康福祉まつり事業			事務事業コード	222-202-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	鈴木理津子
	施策名	2	健康づくりの推進	内線	514
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市健康福祉推進協議会設置規程				
予算・事務事業名	国民健康保険事業特別会計	8款2項1目	健康福祉まつり事業費	予算コード	02-080201-0400
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 6 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	保健と福祉の関係機関が連携し、健康情報を提供する事で、参加者が自らの健康づくりを考えるきっかけとなり、健康づくりの推進に資する。	事業内容	転倒予防体操、健康チェック(骨密度、血管年齢、体成分分析)、減塩食試食や、食育ゲーム、輪投げ、体力測定、健康クイズ、介護相談など		
対象	市民				
目指す状態	「健康福祉都市新庄」の実現を目指して、各種イベントを通し、市民の健康と福祉への関心と理解を高め、健康づくりと福祉の充実を図る。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	37,790	37,407	36,833					
活動指標	指標名称	事業実施回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
実績				1	1	1				1	
成果指標	指標名称	入場者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
実績				1,600	600	700				1,000	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	過去の入場者数										
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
	1,000	900	900	815	980	2000	1,600	1,800	1,400	1,600	
H27	H28										
600	700										
※平成27年度から各ブースの来客数合計ではなく、延べ入場者数を成果指標とした											
成果(どのような状態になったか)	成人に関心が高い健康チェックや、子供向けの食育ゲームにより、広い年代に健康に関する知識の普及・啓発が図られた。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費 … ①	29	108	96	99			歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	29	108	96	99	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 … ②	1,562	1,562	3,096	852	0	0	委託料 新庄市食生活改善推進協議会	70	
内訳	正規職員(人)	0.20	0.20	0.40	0.11		消耗品費	26	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741				
費用合計(①+②)	1,591	1,670	3,192	951	0	0			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	平成26年度まで委託料については健康づくり事業費に健康福祉まつり分も一括で付与されていたが、平成27年度から健康福祉まつり事業費分を分けたため。								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	この事業を通じて、健康について楽しみながら健康について考えられるきっかけとなっている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	幅広い年齢層に参加していただいております、健康について学ぶ機会となっている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	参加団体の増加や出展内容の工夫によって向上の余地がある。
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	参加協力団体については、無報酬で協力いただいております、経費についても最低限の消耗品と、原材料費のため削減の余地はない。
効率性	⑤人員や実施形態は適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	協力団体の意見を聴取するなど、改善の余地はある。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	連携について可能ではあるが、全体を見渡せる現状のスペースが妥当であること、ブース数もおおむね現状がよく、何より主たる目的である健康についての啓発効果が弱まる可能性がある。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	すでに協働で実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	協力団体と協力し、地域の実情を加味し内容を変えるなど実情に合わせた事業となっている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
会場をゆめりあに変更し、6月の開催とした。多くの来場者があり好評だった。子供から高齢者まで、各世代にあった健康や福祉に関する情報を提供し健康づくりに関する意識向上を図った。さらに協力団体と協力し、市民の健康と福祉への関心を高め健康づくりを推進する。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

かむてん健康マイレージ事業のポイント対象事業として、健診や地域の健康教室等で周知。 当日会場案内を配布し様々なイベントが体験できるようにする。 健康測定コーナーの混雑の緩和を図り、多くの人に測定を促し、健康づくりを推進する。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
広報への掲載・テレビ(マスコミ)などを活用し、より多くの方に周知し参加者の増加を図る。参加者が多くのイベントを体験し、健診の定期受診や正しい食習慣・運動の定着等健康を考えるきっかけとなるよう、幅広い年代を対象とした健康づくりの情報提供を行う。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	市民への普及啓蒙を図るため、各団体との協議のもと創意工夫を重ね、健康福祉イベントとして継続実施する必要がある。	所属長評価	楽しみながら健康意識の向上につながるイベントとして定着しているが、さらなる工夫を重ね、参加しやすい内容を構築していく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 基本目標, 政策名, 施策名, 事業区分, 法令根拠, 条例・要綱等, 予算・事務事業名, 事業期間, 事務事業コード, 担当課, 担当者, 内線, 評価区分, 予算コード. Content includes '新庄かむてん健康マイレージ事業' and '健康増進事業費'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 実施形態. Content includes '健康づくりに対する意識の向上を図り、市民の主体的な健康づくりを推進する。' and '健康目標の設定と実践、健診受診、健康づくり事業への参加によりポイントが付き...'.

3. 実施状況

Table with 10 columns: 対象指標, 指標名称, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, H31, H32見込. Includes sub-tables for '地域普及活動' and '参加者アンケート結果'.

4. 投入資源

Table with 7 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, H31. Content includes '事業費' and '人件費' breakdown.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	健診受診や健康づくり事業に参加し、健康目標を設定し実践することで、健診受診率の向上と健康寿命延伸が見込まれる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	健康づくりの各種イベントや地域での健康教室などにおいて、幅広い年代の方々を対象に健康づくりを普及啓発することで市民の健康の意識向上を図り、健診の定期受診や正しい食生活・運動習慣の定着を促すことができる。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	計画的に地域に出向き、積極的に普及活動を実施し、多くの参加を促すことで市民の健康づくりに対する意識向上を目指すことができる。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	○ 削減の余地がない ● 削減の余地がある	ポイントカードや周知用のちらし等の工夫により、需用費が削減できる。
	⑤人員や実施形態は適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	健康教室・健康相談等の各種事業の実施を増やし、多くの市民に普及啓発する必要がある。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	県やまがたマイレージ事業と協働して実施している。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	市内施設や商店、関係団体の協力を得て啓発している。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	市民の主体的な健康づくりを応援することで、健康意識の向上につながり年1回の健診受診の定着を促すことができる。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
市民健康福祉まつり等のイベント参加者や健診受診者にポイントカードを配布し健康づくりの取り組みを促したが、市へ自ら提出したのは全体の15%であった。積極的に地域に出向き健康づくりの取り組みを共有しながら応援することが重要である。健康づくりの重要性について市民の理解を得られるよう幅広い年代の方々を対象に地域普及活動を継続して取り組む必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

若年層への健康づくりの取り組みを強化し、若年層より健診受診を促す。生活習慣病を早期に発見するとともに生活習慣を見直し健康に関する意識を高めるために若年層の参加の増加を図る。 ・ポイント対象事業の拡大 ・イベント会場での健康づくりPR及び参加呼びかけ ・国民健康保険加入者の30歳代を対象にした特定健診を新規に実施

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
市民の健康づくりをさらに推進するため、健診受診を促し計画的に地域に出向き健康づくり事業を実施する。今回の参加の6割が70歳以上であったことから、若い年代を対象とした事業の工夫や、参加しやすい内容にすることで早期からの健康づくりの取り組みの効果が期待できる。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価		所属長評価	平成28年度ポイント達成者が目標値と乖離しており、周知方法、ポイント付与内容、インセンティブ内容等の検討、改革が必要である。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	精神保健事業			事務事業コード	222-204-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	叶内 陽子
	施策名	2	健康づくりの推進	内線	515
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業 評価区分			<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業	
法令根拠	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第2条、自殺対策基本法第4条				
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	4款1項1目	精神保健事業費	予算コード	01-040101-0900
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 18 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	相談により適切な受診勧奨等のアドバイスを行い、対象者の精神及び健康状態の改善の一助とし、自殺の予防に繋げる。市民を対象に啓蒙を行う。	事業内容	毎月1回、専門医師、または臨床心理士によるこころの健康相談を実施。司法書士による多重債務相談を随時実施。保健師による相談訪問等は随時実施。自殺予防のためのゲートキーパー養成講座を開催。		
対象	心の悩みを抱える人や精神障がい者及びその家族、市民				
目指す状態	相談により適切な受診勧奨等のアドバイスを行い、対象者の健康状態の改善の一助とする。		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	全市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込				
	実績			37,790	37,407	36,833				35,000				
活動指標	指標名称	こころの健康相談実施回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画				
	実績			12	13	14				12				
成果指標	指標名称	こころの健康相談利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標				
	実績			15	20	22				-				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)													
	<精神事業の実施状況(上記こころの相談を除く)> <自殺率の年次数推移> 人口10万対 ※													
	事業名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	多重債務相談回数	12	12	3	4	3	3	市	39	31.6	18.6	16.1	27.3	26.9
	多重債務相談件数	8	9	3	4	3	3	市(実数)	15	12	7	6	10	10
	ゲートキーパー講座回数	1	3	2	2	2	2	最上郡	42.1	29.4	29.8	26.5	41.4	-
	ゲートキーパー講座参加者	104	118	66	64	97		山形県	22.8	25.3	24.6	21.6	21.7	19.9
保健師相談人数	43	79	66	80	83	83	全国	22.9	21.0	20.7	19.5	19.5	17.1	
講演会回数	1						資料:保健福祉統計年報(人口動態統計)山形県健康福祉部							
※H28は、警察庁自殺統計であり、人口動態統計確定値でない。														
成果(どのような状態になったか)	悩みを抱える人が相談しやすくなり、早期に適切な支援に結びつけることができた。また、ゲートキーパー養成講座開催により、自殺予防に関する知識を有する人材が地域に増え、より身近で早期に心の問題に気づき、適切な関りができた。													

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費 ... ①	336	366	366	361			歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金						地域自殺対策緊急強化事業費補助金		171
	県支出金	336	239	171					
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	0	127	195	361	0	0	主な歳出の内訳		
人件費 ... ②	5,466	5,466	3,871	3,561	0	0			
内訳	正規職員(人)	0.70	0.70	0.50	0.46		相談員報酬費(謝金)		273
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		旅費		11
費用合計(①+②)	5,802	5,832	4,237	3,922	0	0	使用料及び賃借料		22
臨時嘱託等(人)							需用費		29
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							役務費		10

1. 基本事項

事務事業名	奥羽金沢温泉(株)運営支援事業			事務事業コード	222-205-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	野崎由紀子
	施策名	2	健康づくりの推進	内線	514
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	平成27年度新庄市奥羽金沢温泉運営費補助金要綱				
予算・事務事業名	一般会計	4款1項1目	保健衛生総務事業費	予算コード	01-040101-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 19 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	市民の健康保持・増進、憩いの場として利用されている奥羽金沢温泉に対して、運営費補助をすることによって、市民の一層の健康増進を図る。	事業内容	奥羽金沢温泉の利用者サービス向上及び施設整備に対する補助を行い、市民の健康増進を図る。		
対象	奥羽金沢温泉株式会社				
目指す状態	温泉を活用した健康づくりを図る。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	奥羽金沢温泉株式会社	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
	実績			1	1	1				1	
活動指標	指標名称	経営改善計画協議(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
	実績			4	6	6				5	
成果指標	指標名称	年間延入場者数(千人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
	実績			68	8	49				-	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	○入湯税額(参考)										
	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	税額(千円)	7,317	8,103	8,134	7,369	7,002	6,293	6,025	5,140	645	3,687
対前年比(%)	106.9	110.7	100.4	90.6	95.0	89.9	95.7	85.3	12.5	571.6	
平成27年4月13日に源泉の水中ポンプ故障により、翌日4月14日~平成28年3月12日まで営業休止。											
成果(どのような状態になったか)	平成28年3月の営業再開後、8月より営業時間や利用料金の引き下げ等の対応により、利用者が増加した。入浴や温泉の療養効果を得ており、市民の健康増進に役立っている。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 ... ①	4,200	3,400	430	2,600			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	4,200	3,400	430	2,600	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 ... ②	1,562	1,562	1,161	1,161	0	0	新庄市奥羽金沢温泉運営費補助金	430
内訳	正規職員(人)	0.20	0.20	0.15	0.15			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	5,762	4,962	1,591	3,761	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(PLAN)計画

(DO)実行

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	市民の健康増進に貢献している
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	温泉を活用した市民の健康づくりのための施設として利用されている。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	温泉利用客に対するサービスの拡充等の展開が望まれる。
	④成果を下げずに事業 費を削減できないか	<input type="radio"/> 削減の余地がない <input checked="" type="radio"/> 削減の余地がある	事業者の経営状況を確認し、今後も協議が必要である。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	補助に係わる事務を行っている。
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	他自治体との連携は考えにくい。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	補助金による市民の健康増進事業である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	市内で1か所の温泉施設であり、健康増進の観点から補助を行っている。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

評価
温泉施設については、平成28年3月に営業を再開した。施設の老朽化が顕著であり、事業状況を注視していく必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

事業経営状況を確認し、事業者との協議を行っている。

7. 上記課題に対する改善方法

評価
温泉事業者との協議を行い、状況を確認する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	今後、温泉事業の経営状況を注視し、事業者と協議をしていく。	所属長評価	今後も温泉が営業継続できるように、引き続き支援を行い、協議を重ねていく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, 事業期間, etc.

2. 事務事業の概要

Table with columns for 目的, 対象, 実施形態, 事業内容, etc.

3. 実施状況

Table with columns for 対象指標, 活動指標, 成果指標, 補足説明, 成果(どのような状態になったか), etc.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with columns for 年度, 事業費, 内訳, 事業費の算出根拠(H28), etc.

1. 基本事項

事務事業名		口腔衛生意識普及向上事業			事務事業コード	222-302-35	
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち			担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる			担当者	早坂 和弥
	施策名	2	健康づくりの推進			内線	513
事業区分		<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業		評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業		
法令根拠							
条例・要綱等							
予算・事務事業名		国民健康保険事業特別会計	8款2項1目	健康づくり推進事業費		予算コード	02-080201-0200
事業期間		<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)					
		<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 13 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)					
		<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)					

2. 事務事業の概要

目的	幅広い世代において口腔衛生の意識を高め、口腔の健康の保持を図る。		事業内容	新庄地区歯科医師会に事業委託し、無料でフッ素塗布・歯科相談や80歳で20本の歯を持つ人の表彰等のイベントを開催する。			
対象	市民						
目指す状態	口腔衛生の意識を向上させることにより、幼児期のむし歯を減らし、生涯健康な歯を残す。			実施形態 <input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()			

3. 実施状況

対象指標	指標名称	全市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	37,790	37,407	36,833				
説明(算式等)			達成率							
活動指標	指標名称	むし歯予防啓発イベント開催回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	2	2	2				
説明(算式等)			達成率	100.0%	100.0%	100.0%				
成果指標	指標名称	3歳児のむし歯のない児の割合(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	77.1	81.6	80.6				
説明(算式等)	3歳児健診		達成率	77.1%	81.6%	80.6%				
(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
補足説明	1. お祭り歯っぴい(歯と口の健康週間イベント)					2. 8020歯の長寿賞表彰・講演会				
	(期日)平成28年6月4日(土) (場所) ゆめりあ ・歯科相談・ブラッシング指導 20名 ・フッ素塗布 164名 ・かやのみ会による紙芝居等					(期日)平成28年11月19日(土) (場所)市民プラザ ・8020歯の長寿賞表彰者 21名 ・講演会 100名				
成果(どのような状態になったか)	イベントにより、フッ素塗布の普及・啓蒙が促進され、3歳児健診においてのむし歯のない児の割合が増加傾向にある。また、8020歯の表彰を実施することで、口腔衛生の意識向上につながっている。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 … ①	615	465	449	481			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	615	366	449	481	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 … ②	1,562	1,562	1,548	1,858	0	0	口腔衛生意識普及向上事業委託料	46
内訳	正規職員(人)	0.20	0.20	0.20	0.24		8020運動推進事業委託料	320
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		会場使用料	25
費用合計(①+②)	2,177	2,027	1,997	2,339	0	0	需用費	58
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	平成26年度をもって、在宅寝たきり訪問歯科診療委託が終了したため。							

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	生涯を通じた口腔の健康に関する知識の普及を図ることで、歯科保健の推進と健康の保持・増進を図ることができる。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	生涯にわたる口腔の健康を保持するための知識の普及啓発の役割を果たしている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	むし歯や歯周病は予防方法が確立されているため、さらに周知徹底を図ることで改善を望める。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	新庄地区歯科医師会では、市が支払う委託料以上の経費を伴っている。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	事業費のほとんどが歯科医師会への委託料であるため、人員については改善の余地は無い。また実施形態の問題点は現時点では無い。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	幅広い世代において口腔衛生の意識を高め、口腔の健康の保持を図るという目的は各自自治体共通であるため。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	既に官民協働で事業実施を行っている。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	市民に広く定着している歯科イベントであり、幅広い年代層に働きかける機会となっている。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
口腔衛生意識の普及につながっているが、更にむし歯予防対策を推進していく必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

歯科医師会、最上保健所、市教育委員会、市健康課において、四者協議会を定期開催し、事業内容について協議を行っている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
市民のニーズに合った事業内容となるように、今後も歯科医師会と話し合いながら進めていく必要がある。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	フッ素塗付、8020表彰共に、多くの市民の参加があり、口腔衛生意識の普及につながる事業となった。今後も歯科医師会と連携して事業を継続する。	所属長評価	歯科イベントは定着化し、口腔衛生意識の普及、向上につながっている。今後も関係機関と連携し、予防対策を展開していく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				